

広島市民病院でのクラスターの発生について（第2報）

令和3年2月15日（月）にクラスターの発生を公表した広島市民病院において、新たな患者が確認されました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

患者概要

(1) 年代等

① 既公表分

区分	20代	30代	計
職員	2	3	5

② 本日公表分（2/17公表(1名)、2/18公表（2名））

区分	20代	30代	計
職員	3	—	3

③ ①と②の合計

区分	20代	30代	計
職員	5	3	8

(2) 居住地

広島市

(3) 症 状

軽症または症状なし

広島市民病院でのクラスターの発生について（速報）

広島市立広島市民病院において、令和3年2月12日（金）から14日（日）までの間に職員5名が新型コロナウイルス陽性であることが確認され、クラスターが発生しました。

このため、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、下記のとおり対応しており、引き続き必要な対応を行っていきます。

市民の皆様信頼され満足される医療を提供することが使命と考えながら、2度目のクラスターを発生させ、市民の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけし申し訳ありません。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いします。

記

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 感染拡大のリスクがある病棟等については、消毒を実施しました。
- ・ 保健センター指示のもと、感染の可能性がある患者及び職員に対してPCR検査を実施しました。
- ・ 濃厚接触が疑われる職員については、PCR検査が陰性であっても自宅待機・健康観察としました。
- ・ 再発防止策として、
 - (1) 全職員に対し、医療従事者として自覚ある行動をとるよう、繰り返し求め周知徹底していきます。
 - (2) 職員自らが日々の健康観察を徹底するとともに、職員が休暇を取得しやすい環境を整えます。

2 病院機能について

- ・ 感染が発生した病棟への新規入院を中止します。
- ・ なお、その他の診療については、通常どおり行います。

広島市民病院でのクラスターの発生について（第5報）

令和2年12月17日（木）にクラスターの発生を公表した広島市民病院において、新たな患者が確認されました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・広島市民病院では、PCR検査の結果が陰性であった職員について、体調面に不安があるなどの理由により本人が希望すれば、再度PCR検査を実施しています。
- ・この度、クラスターが発生した病棟の職員の1人（自宅待機者）で、12月15日（火）のPCR検査では陰性であった者が、12月21日（月）にPCR検査を実施したところ、翌日に陽性が確認されました。
- ・患者については、感染症指定医療機関等への入院などを調整しています。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴及び県外往来歴はありませんでした。

2 患者概要

(1) 年代

① 既公表分

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	2	3※1	3※2	—	—	10
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	2	2	3	4	—	4	15

※1及び※2：いずれも1名は、市外在住者のため、本市患者に含めない。

② 本日公表分

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	1	—	—	—	—	—	1
計	1	—	—	—	—	—	1

③ ①と②の合計

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	3	2	3※1	3※2	—	—	11
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	3	2	3	4	—	4	16

※1及び※2：いずれも1名は、市外在住者のため、本市患者に含めない。

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

なし

広島市民病院でのクラスターの発生について（第4報）

令和2年12月17日（木）にクラスターの発生を公表した広島市民病院において、新たな患者が確認されました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・広島市民病院において、クラスターが発生した病棟の職員の1人について、12月15日（火）に実施したPCR検査では陰性であったものの、その後の自宅待機中に発熱、咳の症状が出たため、12月20日（日）に再度、PCR検査を実施したところ、翌日にその職員の陽性が確認されました。
- ・患者については、感染症指定医療機関等への入院などを調整しています。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴及び県外往来歴はありませんでした。

2 患者概要

(1) 年代

① 既公表分

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	2	2※1	3※2	—	—	9
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	2	2	2	4	—	4	14

※1及び※2：いずれも1名は、市外在住者のため、本市患者に含めない。

② 本日公表分

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	—	—	1	—	—	—	1
計	—	—	1	—	—	—	1

③ ①と②の合計

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	2	3※1	3※2	—	—	10
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	2	2	3	4	—	4	15

※1及び※2：いずれも1名は、市外在住者のため、本市患者に含めない。

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

軽症

令和2年12月21日

地方独立行政法人広島市立病院機構

新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について

広島市立広島市民病院では、現在、クラスターが発生した病棟において、保健センター指示のもと、陽性者については自宅又は医療機関等で療養してもらっています。陽性者の濃厚接触者については、PCR検査が陰性であっても自宅待機・健康観察としています。

また、当院では、クラスターが発生した病棟とは別の部署に勤務する職員に対しても、念のため、感染リスクを確認するためのPCR検査を実施しています。現在、手術に関係するすべての職員のPCR検査を実施しており、救急搬送の受入れに関連する職員については、明日までに概ねPCR検査を終了する予定です。

当院の新型コロナウイルス感染症緊急対策本部では、感染症の専門家である外部委員の意見も踏まえ、新規の陽性者が散発的であり、新たなクラスターの危険性はなく、新たな入院患者の受入れは可能であると判断できることから、令和2年12月18日（金）に公表した「新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（第3報）」でお知らせしましたとおり、救急搬送については受入体制を確保したうえで、同月23日（水）午前8時30分から周産期も含め再開します。また、手術については、本日から段階的に再開しました。

引き続き、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、必要な対応を行っていきます。

市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いします。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いします。

令和2年12月19日

地方独立行政法人広島市立病院機構

新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（第4報）

令和2年12月18日（金）に公表した「新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（第3報）」の変更点をお知らせします。

PCR検査の結果、新たに職員1名、既退院者2名の陽性が確認されました。

引き続き、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、感染範囲の確認を行うとともに、職員等のPCR検査を実施するなど、必要な対応を行っているところです。

市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

1 患者概要

(1) 年代

① 本日公表分（12/19 公表）

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	—	1	—	—	—	—	1
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	—	1	—	—	—	2	3

② 既公表分（12/17 公表、追加公表分（12/18 公表））

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	1	2	3	—	—	8
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
計	2	1	2	4	—	2	11

③ ①と②の合計

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	2	2	3	—	—	9
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	2	2	2	4	—	4	14

(2) 症状

軽症

新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（第3報）

令和2年12月17日（木）に公表した「新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（第2報）」の変更点をお知らせします。

引き続き、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、感染範囲の確認を行うとともに、職員等のPCR検査を実施するなど、必要な対応を行っているところです。

市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

1 広島市民病院新型コロナウイルス感染症緊急対策本部の設置

当院では、令和2年12月18日に荒木病院長を本部長とする広島市民病院新型コロナウイルス感染症緊急対策本部を立ち上げました。同対策本部には、専門家からアドバイスをもらうため、外部委員として、桑原正雄CDCセンター長、大毛宏喜教授（広島大学感染症科）、久保達彦教授（広島大学大学院医系科学研究科）に加わってもらいました。

2 病院機能について

- ・ 23日（水）午前8時30分までの救急搬送の受入れは、職員等のPCR検査の結果を踏まえ、周産期を含め中止します。
- ・ また、PCR検査の結果を踏まえ、21日（月）から段階的に手術を再開します。

3 新たな患者

(1) 年代

① 本日公表分（12/18公表）

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	—	—	—	—	—	—	—
入院患者	—	—	—	—	—	1	1
計	—	—	—	—	—	1	1

② 既公表分 (12/17 公表)

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職 員	2	1	2	3	—	—	8
入院患者	—	—	—	1	—	1	2
計	2	1	2	4	—	1	10

③ ①と②の合計

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職 員	2	1	2	3	—	—	8
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
計	2	1	2	4	—	2	11

(2) 症状
軽症

新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（第2報）

広島市立広島市民病院において、令和2年12月16日（水）、昨日の速報でお知らせした、12月13日（日）から15日（火）までの間に陽性が確認された患者と同じ病棟に従事する職員6名が陽性であることが新たに確認され、クラスターが発生しました。

引き続き、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、感染範囲の確認を行うとともに、以下のとおり必要な対応を行っているところです。

市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いします。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いします。

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 感染拡大のリスクがある病棟等については、徹底的な消毒を実施します。
- ・ 今後、すべての職員に対してPCR検査を実施します。
- ・ 濃厚接触が疑われる職員については、PCR検査が陰性であっても自宅待機・健康観察とします。

2 病院機能について

- ・ 感染が発生した1病棟については、当面の間新規入院患者の受入を中止するとともに、退院日の延長など必要な措置を行います。
- ・ 19日午前8時30分までの救急搬送の受入れは、周産期を除き中止します。
- ・ 18日までの手術は中止します。手術にかかわるスタッフのPCR検査を実施し、その結果により対応を検討します。

3 その他

- ・ 感染が発生した病棟の入院患者への面会を禁止します。

（参考）

(1) 年代

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	1	2	3	—	—	8
入院患者	—	—	—	1	—	1	2
計	2	1	2	4	—	1	10

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

軽症又は症状なし

新型コロナウイルス感染症患者の発生と対応について（速報）

広島市立広島市民病院において、令和2年12月12日（土）に職員1名が新型コロナウイルス陽性であることが確認されました。また、13日（日）から15日（火）までの間に同職員と接触がない入院患者2名及び職員2名が陽性であることが確認されました。

このため、広島市の関係部局（保健センター等）と連携し、当該病棟の入院患者及び関係職員に対してPCR検査を実施し、感染範囲の確認を行うとともに、引き続き必要な対応を行っているところです。

市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

また、患者・職員等の人権尊重、個人情報の保護にご理解とご配慮をお願いします。

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 感染拡大のリスクがある病棟等については、徹底的な消毒を実施します。
- ・ 感染が疑われる患者及び職員に対してPCR検査を実施します。
- ・ 濃厚接触が疑われる職員については、PCR検査が陰性であっても自宅待機・健康観察とします。

2 病院機能について

- ・ 救急病棟をコロナ感染病棟として確保し、感染が発生した病棟から感染患者を転棟させます。
- ・ また、感染が発生した病棟には、当面の間新規入院患者の受入を中止するとともに、退院日の延長など必要な措置を行います。
- ・ 16日の救急搬送の受入れは、周産期を除き中止します。
- ・ 16日の手術は中止します。手術にかかわるスタッフのPCR検査を実施し、その結果により対応を検討します。

3 その他

- ・ 感染が発生した病棟の入院患者への面会を禁止します。

引き続き、保健センターとの連携を図り、感染拡大防止に向けて適切な対応に努めてまいります。

患者さんならびに職員の安全を最優先し、全職員が一丸となって全力で対応を進めてまいります。何卒ご理解の程、よろしくお願いいたします。

令和2年12月16日
広島市立広島市民病院
病院長 荒木 康之